

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連  (沖縄)	◎	コンビニ（代表者）	・県民の動きは予想以上のものであり、加えて観光客も増加しており、この経済の流れは今後も継続するであろうと判断する。
	○	スーパー（企画担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が、現状よりも低い水準で落ち着けば、外出する機会が増え、それに伴い消費意欲も高まると考えている。
	○	コンビニ（経営者）	・人の動きが活発になってきているため、販売量が増えて客単価も上昇している。
	○	コンビニ（副店長）	・国の政策も臨機応変に対応し、更に規制緩和へと進み経済が動く予想する。
	○	その他専門店 [陶器]（製造）	・新型コロナウイルス感染症の影響がなければ、秋冬は沖縄では陶器の販売量が増えるため、期待している。
	○	旅行代理店（マネージャー）	・隔離期間や濃厚接触者の待機期間が実生活とかい離しているところがあると考えているが、問合せや予約数は微増傾向にあるため多少期待している。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症も収まってきており、新商品の発売もあるため客足は増えるのではないかと期待している。
	○	その他サービス [レンタカー]（営業）	・県内のレンタカー保有台数が、需要に対して不足気味であることを背景に、個人や法人利用の先行受注が好調に推移している。
	□	百貨店（店舗企画）	・これから来客数は伸びていくとみているが、商品の物価高に加え、光熱費の高騰が年末に向けて懸念され、客の懐事情に影響するのではないかと。
	□	スーパー（販売企画）	・商品値上げ等の物価高、電気等の光熱費高、コロナ禍、ウクライナ戦争等、先々の景気を良くすることが考えられない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着けば少し良くなりそうだが、物価高や燃料費高騰でプラスマイナスゼロかとみている。
	□	家電量販店（営業担当）	・部材高騰による全体的な商品値上げの影響で、来客数が大きく伸びないことが予想される。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・商品の供給不足が当面続くため、客の意識の変化が心配である。
	□	観光型ホテル（代表取締役）	・先々の宿泊客の予約数は増えている。ただし、ここ数日新型コロナウイルス感染症の影響で修学旅行のキャンセルが出ており、予断を許さない。現時点での売上予測は2019年比の40から45%程度と厳しい状態が続いている。飲食に関しては夕食宴会の予約は出てきているが、このまま予約が一気に増えるとは考えにくい。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・民間の個人住宅や投資案件に関しては減少傾向にあるが、その分を公共工事で埋め合わせられないかと期待したい。
	□	住宅販売会社（役員）	・コロナ禍なので、まだまだ人流が活発化されるとは言い難く、当面は客の動向に変化はないとみられる。
	▲	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの8月の販売室数は前年比240%増加なのに対し、8月末時点での11月の予約室数が前年比76%増加とプラス幅が小さくなっている。
×	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の影響がある限りは小売店など、商店街は危機的状況にあるとみている。また、商売以外の面でも、この新型コロナウイルス感染症の影響が広がっており大変危惧している。	
×	その他飲食 [居酒屋]（経営者）	・雇用調整助成金があるうちは、客の来ない平日は閉めて、週末のみの営業をしている店舗がかなりあるが、助成金が止まった後はどうなることか。来客数以外にも、最低賃金の上昇や、食材の異常な値上がりで、商品の値上げも限界にきている。	
企業 動向 関連  (沖縄)	◎	－	－
	○	輸送業（経営企画室）	・新型コロナウイルス感染症の第7波が収束し、観光客の来訪も落ち着くため、現在より景気が良くなっていると推測する。
	○	広告代理店（営業担当）	・急激に増加した新型コロナウイルスの新規感染者数に対する警戒感から、ウィズコロナ社会に適応する販促活動として静観から攻めに移行する動きが出始めている。2019年には届かないとみているが、リアルなイベントも動き出してきている。

	<input type="checkbox"/>	食料品製造業（役員）	・10月の最低賃金の上昇による人件費の上昇等や、燃料費、原材料費の高値水準が続くそうなので、赤字にならないか心配である。
	<input type="checkbox"/>	建設業（経営者）	・新規の相談の来客数が止まったままである。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては石垣島の陸上自衛隊関連工事が順調に進み、民需部門では宮古島や石垣島のホテル等で回復がみられる。ウクライナ問題の影響か、フィリピン産川砂の入荷が滞り、本島からの輸送に切り替わることで県内輸送が増加するが、新型コロナウイルスオミクロン株別系統の影響が現場にて深刻化している。
	<input type="checkbox"/>	会計事務所（所長）	・特に好転するような気運はないとみられる。
	▲	窯業土石業（取締役）	・売上は減少傾向で、原材料も高騰が続き収益を圧迫しており、販売価格の再値上げを検討している。
	×	—	—
雇用 関連 (沖縄)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少傾向にあることで企業の求人件数が増加傾向にある。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・コロナ禍でも変わらず、秋シーズンは求人数が増加している。年周期の動きとしてみており、増加を予測している。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（経営者）	・現在の新型コロナウイルス感染症による影響は少なくなり、派遣スタッフも仕事に復帰できる人は増えると期待しているが、他の不安要素が消えないため厳しい環境は続くともみている。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（総務担当）	・今後の新型コロナウイルス新規感染者数の増減に左右されそうである。
	<input type="checkbox"/>	職業安定所（職員）	・業種によっては、コロナ禍での行動制限のない観光シーズンを経験したことでバランスを取れる方法を会得しているところもあるが、雇用調整助成金の特例終了が間近などで、本格的に事業をたたむ必要があるところも出るとみられる。どの事業も恒常的に人手不足気味で、最低賃金も例年以上に上がる見込みである。
	<input type="checkbox"/>	学校〔専門学校〕（就職担当）	・10月からの早期出社に向けた求人数がそろそろ出始めてくるが、定期採用求人数は徐々に減少しているため、求人数からみると変わらないということとなる。
	<input type="checkbox"/>	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新型コロナウイルス感染症、燃料費の高騰、円安など経済の悪条件がしばらく続くとみられる。
	▲	—	—
	×	—	—